

平成24年度 「道路ふれあい月間」 推進標語を募集します！

道路局 道路交通管理課

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の正しい利用や道路愛護活動の推進に努めていますが、この一環として、平成24年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない基本的な施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。

そこで、この推進標語の募集を通じて、改めて道路の意義・重要性について考えて頂くことを目的としています。詳しい募集要領は下記のとおりです。多くの方からの応募をお待ちしております。

◇募集テーマ◇

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。

◇応募資格◇

小学生以上の方から応募できます。

◇応募期間◇

平成24年3月30日（金）まで（当日必着）

◇応募部門・賞◇

〔小学生の部〕 最優秀賞1作品、優秀賞2作品
〔中学生の部〕 最優秀賞1作品、優秀賞2作品
〔一般の部(高校生以上)〕 最優秀賞1作品、優秀賞2作品

◇応募方法◇

1 人何作品でも応募できます。

●はがきによる応募の場合

はがきに、標語と必要事項〔氏名とフリガナ、住所、電話番号、性別、年齢、応募部門の別〕を記入のうえ郵送してください。

（郵送先） 〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3
国土交通省道路局道路交通管理課
標語担当あて

●電子メールによる応募の場合

1. メール本文に、標語と必要事項〔氏名、住所、電話番号、性別、年齢、応募部門の別〕を記載のうえ、dourohyogo24@mlit.go.jp に送信してください。

※上記アドレスからの受信ができるように設定してください。

2. 国土交通省ホームページの応募様式に記入の上、電子メールに添付して応募することもできます。

※ Microsoft Office Excel 97 以降のソフトが使用できる環境にあること。

●学校単位での応募の場合（学年・クラス単位含む）

1. 小中学生の作品をとりまとめのうえ、封書にて郵送してください。

2. 国土交通省ホームページの応募様式に記入の上、電子メールに添付して応募することもできます。

※ Microsoft Office Excel 97 以降のソフトが使用できる環境にあること。

※その他のファイル（Word、一太郎など）でも受け付けます。

また、氏名、住所等の事項は、学校のものとすることができます。

◇入賞作品の発表・使用◇

入賞作品は決定次第、ご本人に直接通知するとともに、国土交通省ホームページ等で発表し、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用させていただきます。

◇表彰◇

「道路ふれあい月間」期間中に国土交通省から賞状及び楯を贈呈いたします。

◇参考◇

平成23年度推進標語・最優秀賞

『ふしぎだね この道歩くと ほっとする』

『この道で 今日ドラマが 生まれてる』

『よい事が ありそう今朝の 光る道』

◇その他◇

・応募作品の返却は致しません。

・入賞作品の著作権は主催者に帰属します。

◇主催◇

国土交通省

◇国土交通省ホームページ（本発表内容の掲載 URL）

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000235.html

◇お問い合わせ先◇

国土交通省道路局道路交通管理課 総務係 田中、小原
（代表）03-5253-8111
（内線）37423、37424

平成23年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品

◆最優秀賞(3作品)◆

【小学生の部】「ふしぎだね この道歩くと ほっとする」

田村 茉莉花 さん 8歳(香川県 高松市立川島小学校)

選評：ほんとうによいものは、そのどこがよいかわからないことが多い。
それが「ほっ」とさせるのだろう。

【中学生の部】「この道で 今日ドラマが 生まれてる」

江島 千愛 さん 13歳(新潟県 長岡市立宮内中学校)

選評：道は人と人を結びつけるものだから、日々ドラマが生まれる。
よいドラマが生まれることを願わずにはいられない今日このごろだ。

【一般の部】「よい事が ありそう今朝の 光る道」

徳江 和雄 さん 82歳(東京都 北区)

選評：道を歩いていてふっと吉兆を感じたその瞬間をとらえた作品。
「光る」が効いている。

◆優秀賞(6作品)◆

【小学生の部】「おはようが ひびいてきこえる 山のみち」

矢野 珠真 さん 7歳(大分県 豊後高田市立臼野小学校)

「道路でね 転んで泣いて 仲直り」

小川 藍 さん 12歳(新潟県 長岡市立山古志小学校)

【中学生の部】「こんにちは 道路で交わす 合い言葉」

七條 怜華 さん 14歳(長崎県 雲仙市立小浜中学校)

「夕日道 のびる影で 背くらべ」

渡邊 悠子 さん 15歳(香川県 高松市立高松第一中学校)

【一般の部】「続くだね この道が 未来へ」

山本 篤 さん 51歳(新潟県 長岡市)

「風の色 見つけて歩く 四季の道」

保岡 直樹 さん 40歳(東京都 世田谷区)

(総合選評)

- ・改めて「道路」は、日々時間を共にしている大事な存在ということが分かります。小学生のやわらかな視点、中学生の未来への予感、一般部門の暖かさ。全てに人の縁が感じられておそらく街町でこの標語を見た方は、まさに「ほっ」とするのではないのでしょうか。
- ・その地に暮らす人々の息吹が伝わる作品が揃いました。小学生の「ほっとする」の言葉からは、家族と地域に守られて生きる姿、中学生になると、「ドラマが生まれる」と大人への入口に立つ期待感が、そして、一般の部では「よい事が」と希望を招く言葉へと展開しています。それぞれの人生の段階ごとに、人が道路を豊かに育てているようです。